



LIXIL

## レストステージ ベランダ仕様

## 取付説明書

## ■取付けされる方へのお願い

- 同梱されている取扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲警告** …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲警告

- 本製品は、床面から手すりまでの高さが1100mm未満になる場合は取付けないでください。人が転落するおそれがあります。

## ▲注意

※製品破壊による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

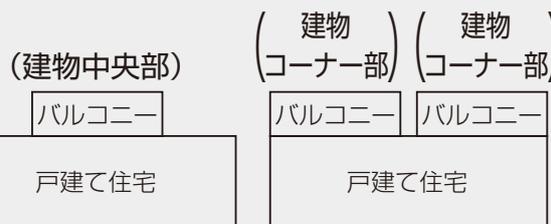
## ●設置条件

- 風による影響を受けやすい場所での使用は、風圧により飛散するおそれがありますので、下表にしたがい取付けてください。

## 【戸建て住宅】

階数	バルコニー位置	施工
1F~3F	建物中央部	○
	建物コーナー部	△※1

※1：飛散防止ワイヤーを使用してください。

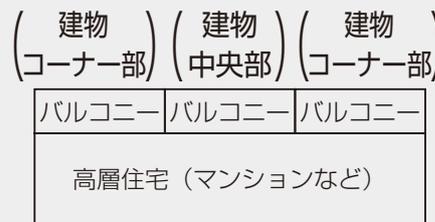


## 【高層住宅（マンションなど）】

階数	バルコニー位置	施工
1F	—	○
2F・3F	建物中央部	○
	建物コーナー部	△※2
4F~10F※3	—	△※2

※2：大引をエポキシ系樹脂接着剤でバルコニー床面に固定してください。

※3：11F以上には使用できません。



- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により製品が破損するおそれがあります。
- マンションなどの集合住宅は、バルコニーの排水溝や排水口を共有している場合があります。そのような場合は、排水溝や排水口には取付けしないでください。

## ●取付けについて

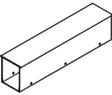
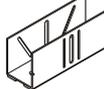
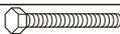
- 取付けは専門業者が行ってください。
- みだりに改造・変更をしないでください。
- 当社指定の付属品以外は取付けしないでください。
- 組立てねじ、ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中ゆるまないように締付けてください。
- タッピングねじの下穴は、指定より太いドリルを使用しないでください。
- シーリングは、指定の個所に必ず行ってください。水漏れのおそれがあります。
- 取付け前には下地床面のゴミや砂を必ず取除いてください。防水層をキズ付け、雨漏れの原因になります。
- 設置するには、必ず母屋とのすき間を5mm程度あけてください。熱伸びによる音なりや母屋をキズ付ける原因となります。
- バルコニー上で切断や加工をする際はコンパネなどを敷き、床面にキズが付かないように作業してください。バルコニー床面にキズを付けますと漏水の原因となるおそれがあります。

## ■取付け上のお願い

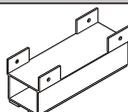
- 立てかけ保管しないでください。
- 暖房機・たき火の近くなど、高温となる場所には保管しないでください。又、夏期の直射日光が当たる場所に放置しないでください。
- 階下への避難口、避難ハッチなどの上には取付けしないでください。避難口、避難ハッチなどが使用できなくなるおそれがあります。
- 給湯機、暖房機などの熱排気が製品に直接当たらないようにしてください。熱によって変形するおそれがあります。
- アパートの通路などの共有部分には取付けはできません。
- 製品の上には重量物を長時間重ね置きしないでください。
- 人工木材は産業廃棄物として処理してください。
- 取付け中についた表面の汚れやシミは引渡し前に水洗いして落してください。薄めた中性洗剤を使用した場合は、使用後洗剤が製品表面に残らないように十分水で洗い流してください。

## ■梱包明細表

### 【1】大引セット

名 称	略 図	員 数							
		2本入				3本入			
		L750・L900 L1050	L1200・L1800 L1900	L2000 L2575	L3555	L750・L900 L1050	L1200・L1800 L1900	L2000 L2575	L3555
大引 (H65・H45)		2	2	2	2	3	3	3	3
支持台 (65・45)		4	6	8	10	6	9	12	15
スライドナット		4	6	8	10	6	9	12	15
【1-1】 M6×60六角ボルト		4	6	8	10	6	9	12	15
【1-2】 φ4×16ナベドリルネジ		8	12	16	20	12	18	24	30
【1-3】 M6平座金		4	6	8	10	6	9	12	15
取扱説明書	—	1	1	1	1	1	1	1	1
取付説明書	—	1	1	1	1	1	1	1	1

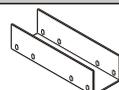
### 【2】高さ調整部品セット

名 称	略 図	員数	
		5個入	10個入
補助台 (40・20)		5	10
【2-1】 φ4×16ナベドリルネジ		21	43
【2-2】 φ4×13サラドリルネジ		10	21

### 【3】飛散防止ワイヤーセット

名 称	略 図	員数
		4本入
飛散防止ワイヤー		4
【3-1】 φ4×40ナベタッピンネジ1種		4
【3-2】 φ4×20ナベタッピンネジ3種		4
【3-3】 M4平座金		8

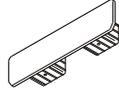
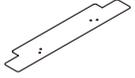
### 【4】大引連結部品セット

名 称	略 図	員 数	
		2個入	3個入
大引スリーブ		2	3
【4-1】 φ4×16ナベドリルネジ		17	26

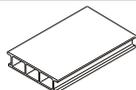
### 【5】大引キャップセット

名 称	略 図	員数
		2個入
大引キャップ		2
【5-1】 φ4×12トラスタッピンネジ3種		4

### 【6】床板キャップセット

名 称	略 図	員 数	
		2個入	10個入
床板キャップ		2	10
床板キャップ穴開け治具		1	1
【6-1】 φ4×16サラタッピンネジ1種		4	22

**【7】床板セット**

名 称	略 図	員 数		
		1本入	2本入	3本入
床板		1	2	3

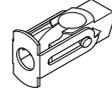
**【8】床板取付け部品セット(中間用)**

名 称	略 図	員 数	
		追加 (20個入)	追加 (40個入)
横止め金具		20	40
【8-1】φ4×13ナベドリルネジ		22	44

**【9】床板取付け部品セット(端部用)**

名 称	略 図	員 数			
		4個入	6個入	8個入	10個入
床板取付け金具(端部用)		4	6	8	10
【9-1】φ4×16ナベドリルネジ		4	6	8	10

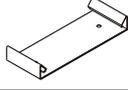
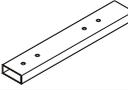
**【10】浮き上がり防止部品セット**

名 称	略 図	員 数
浮き上がり防止金具		5
浮き上がり防止ブロック		5
M4ターンナット		5
【10-1】φ4×12ナベタッピンネジ3種		5

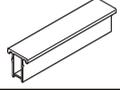
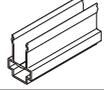
**【11】床板固定ネジセット**

名 称	略 図	員数 50本入
【11-1】φ4×40サラドリルネジ		50

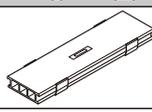
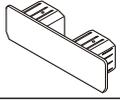
**【12】グレーチングセット**

名 称	略 図	員 数	
		L900	L1800
グレーチング		1	1
グレーチング固定金具		4	6
グレーチング補助台		4	6
【12-1】φ4×25ナベドリルネジ		8	13

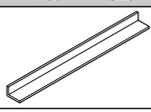
**【13】幅調整材セット**

名 称	略 図	員 数				
		2本入				
		L900	L1200	L1500	L1800	L2100
すき間調整材		2	2	2	2	2
調整材受け金具		2	2	2	2	2
スペーサー		6	8	8	8	10
【13-1】φ4×25 ナベドリルネジ		6	8	8	8	10

**【14】点検口セット**

名 称	略 図	員 数
点検口		1
床板キャップ		4
【14-1】φ4×16 サラタッピンネジ1種		8

**【15】見切り材**

名 称	略 図	員 数
見切り材		1

**【16】見切り材固定ビスセット**

名 称	略 図	員 数
【16-1】φ4×35ナベ タッピンネジ1種		30

**【17】手すり調整材セット**

名 称	員 数	
	2本用	3本用
丸束補強材	2	3
丸束補強材取付け金具	4	6
束補強材取付け裏板	8	12
丸束端部保護板	2	3
丸束補強材端部キャップ	4	6
【17-1】φ4×16ナベドリルネジ	8	13
【17-2】φ5×10トラスタッピンネジ3種	8	13
【17-3】φ4×20ナベタッピンネジ2種	4	6
【17-4】φ5×25トラスタッピンネジ3種	8	13
【17-5】φ6×70六角タッピンネジ1種	4	6
取付説明書	1	1

# 1. 基本寸法図

※図はレストステージ出幅4尺の場合を示します。  
 ※大引のピッチ(P)は必ず900以下にしてください。

## 1-1 縦張り

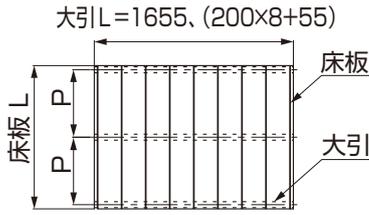


図1-1 1.0間

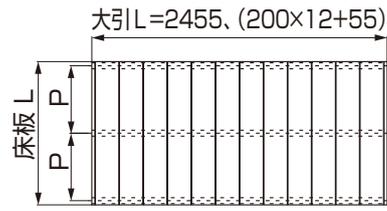


図1-2 1.5間



図1-3 2.0間

●大引L=200×N(床板枚数)+55  
 (床板Wは195mm、目地は5mmです)

表1-1

出幅	床板L	1.0間			1.5間			2.0間		
		床板枚数	大引本数	大引L	床板枚数	大引本数	大引L	床板枚数	大引本数	大引L
3尺	900	8枚	2本	1655	12枚	2本	2455	17枚	2本	3455
4尺	1200	8枚	3本	1655	12枚	3本	2455	17枚	3本	3455
5尺	1500	8枚	3本	1655	12枚	3本	2455	17枚	3本	3455
6尺	1800	8枚	3本	1655	12枚	3本	2455	17枚	3本	3455

## 1-2 横張り

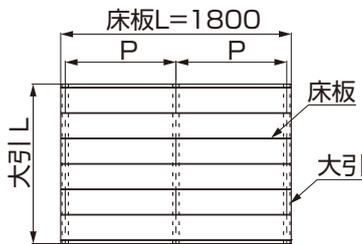


図1-4 1.0間



図1-5 1.5間

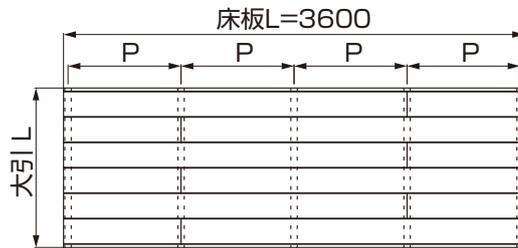


図1-6 2.0間

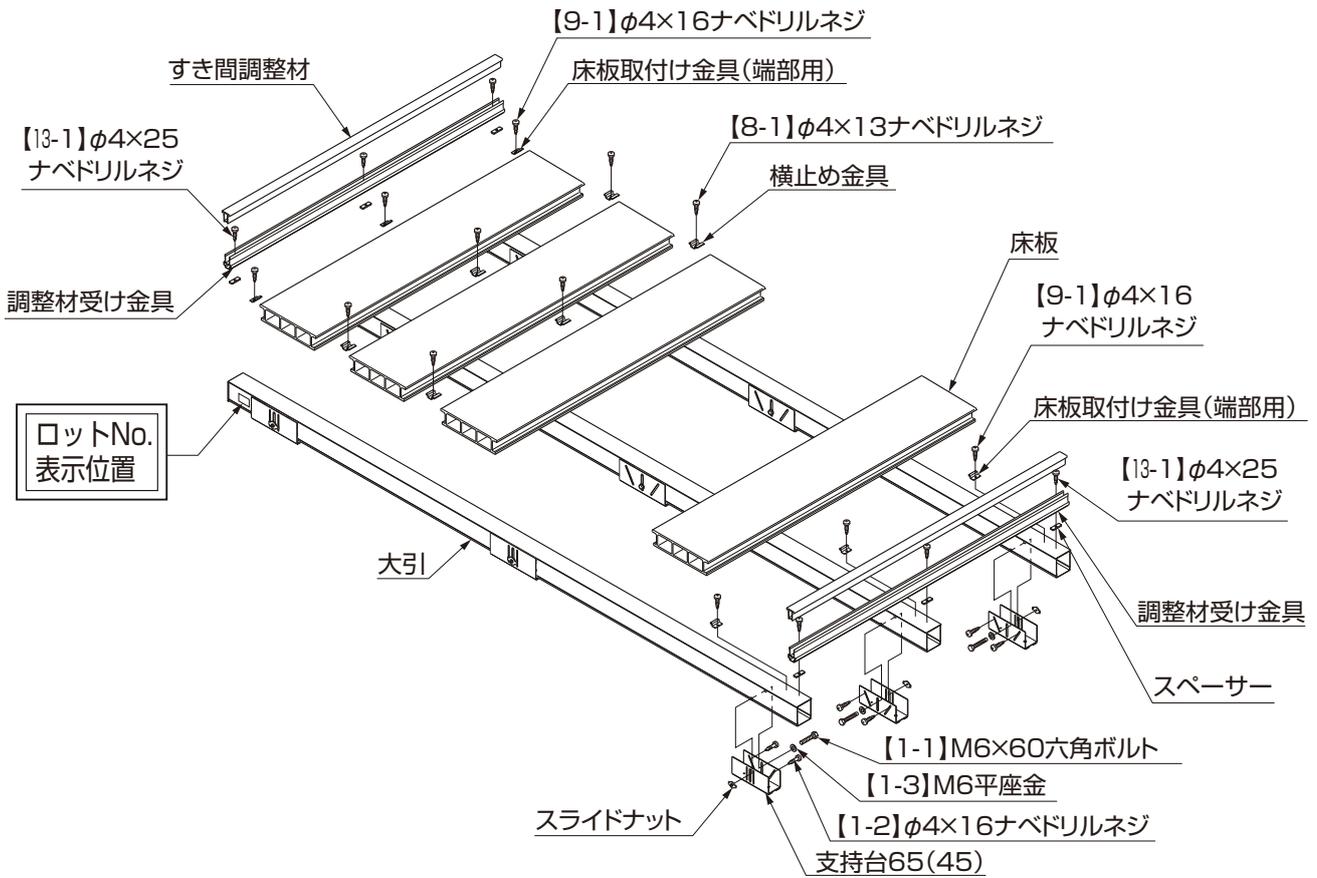
●大引L=200×N(床板枚数)+35  
 (床板Wは195mm、目地は5mmです)

表1-2

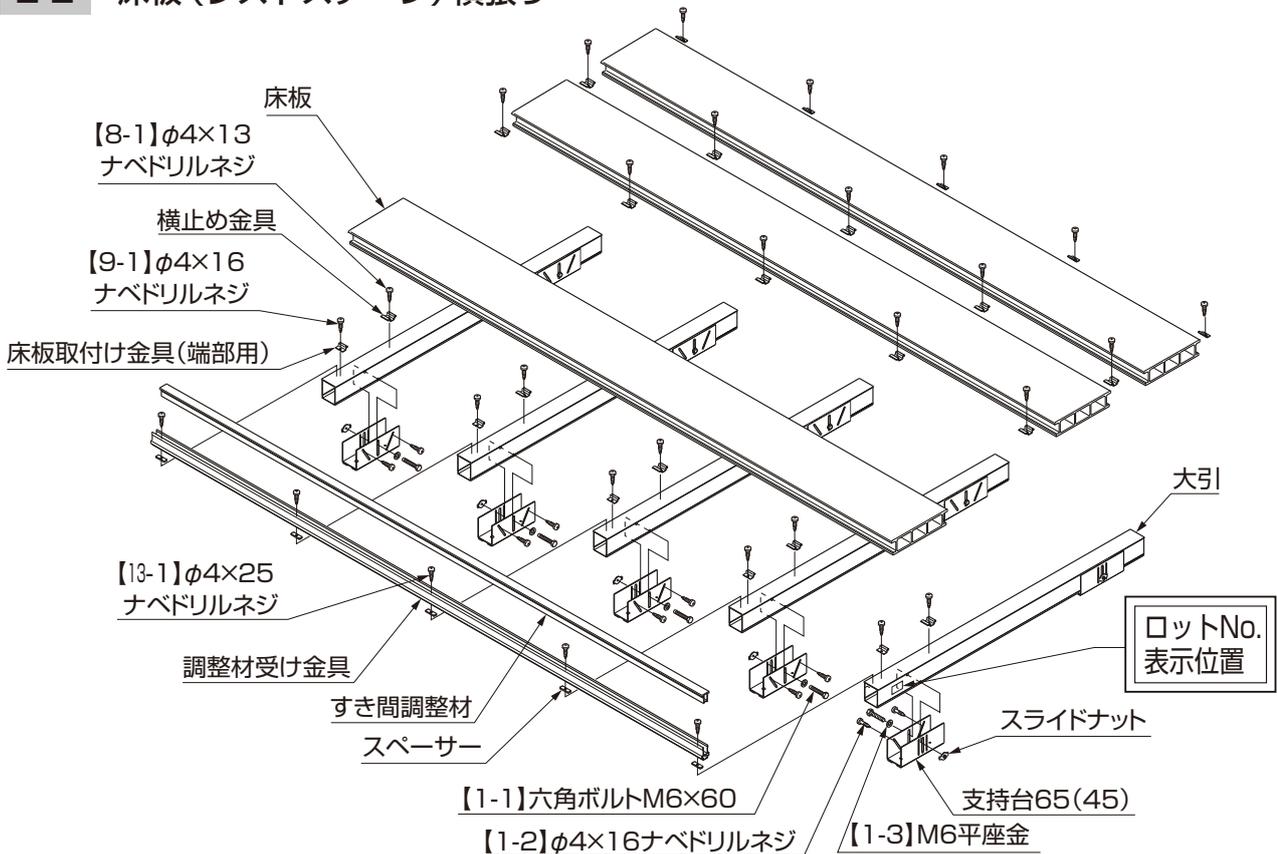
出幅	床板L	1.0間			1.5間				2.0間			
		床板枚数	大引本数	大引L	床板L	床板枚数	大引本数	大引L	床板L	床板枚数	大引本数	大引L
3尺	1800	5枚	3本	1035	2700	5枚	4本	1035	<sup>900</sup> / <sub>2700</sub>	各5枚	5本	1035
4尺	1800	6枚	3本	1235	2700	6枚	4本	1235	<sup>900</sup> / <sub>2700</sub>	各6枚	5本	1235
5尺	1800	7枚	3本	1435	2700	7枚	4本	1435	<sup>900</sup> / <sub>2700</sub>	各7枚	5本	1435
6尺	1800	9枚	3本	1835	2700	9枚	4本	1835	<sup>900</sup> / <sub>2700</sub>	各9枚	5本	1835

## 2. 各部名称

### 2-1 床板 (レストステージ) 縦張り



### 2-2 床板 (レストステージ) 横張り



### 3. 大引の取付け

#### 3-1 大引の取付け

##### (1) 補助台40 (20) を取付ける場合

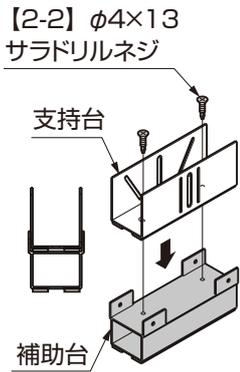


図3-1 1段の場合

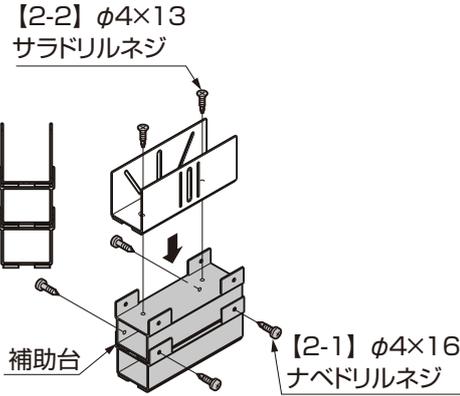


図3-2 2段の場合

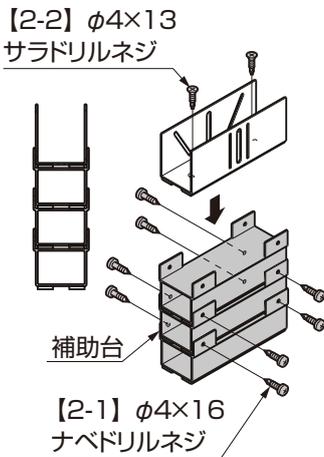


図3-3 3段の場合



※4段以上は取付けることができません。

図3-4 4段の場合

##### (2) 大引の取付け

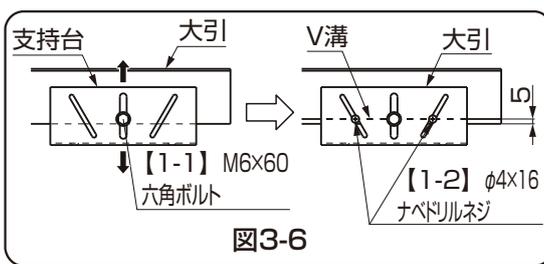


図3-6

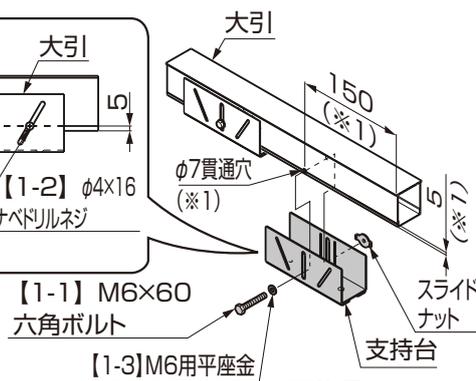


図3-5

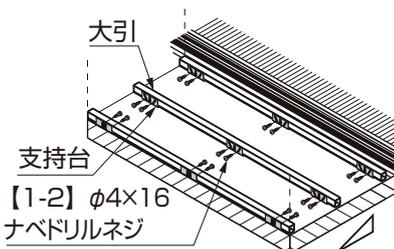


図3-7 床板縦張り

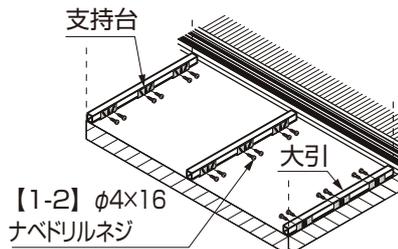
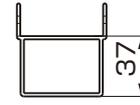


図3-8 床板横張り

##### ●補助台40



##### ●補助台20

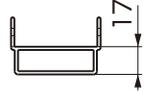
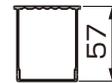


表3-1 床高さ一覧表

	大引65	大引45
補助台20 なし	111~151	91~111
// 1個	131~171	111~131
// 2個	151~191	131~151
// 3個	171~211	151~171
補助台40 なし	111~151	91~111
// 1個	151~191	131~151
// 2個	191~231	171~191
// 3個	231~271	211~231

- 大引に支持台を取付ける前に補助台を取付けてください。
- 4段以上は取付けることができません。
- ①補助台を支持台に【2-1】、【2-2】で取付けてください。

##### ●大引65



##### ●大引45



##### ●支持台65



##### ●支持台45



- 大引を切詰めた場合は、端部から150の位置にφ7の現場加工を行なってください。(※1)
- 大引ピッチが900以下になるように、大引を設置してください。

- ①支持台を【1-1】、【1-3】、スライドナットで取付けてください。(図3-5、表3-1参照)
- ②大引を設置してください。(図3-7、3-8参照)
- ③大引位置がずれないように、大引の両端に床板を仮止めしてください。
- ④両端に仮止めした床板などを利用して、床の高さ、水平を調整してください。

- 床面の水はけをよくするために床板に少し水こう配をつけることをお進めします。
- ⑤すべての支持台の高さを決めた後、支持台を大引のV溝に【1-2】で固定してください。(図3-6参照)

### 3. (つづき)

#### 3-1 (つづき)

##### (3) 戸建て設置の場合

●建物コーナー部に戸建て設置をする場合は飛散防止ワイヤーを使用してください。(※2)

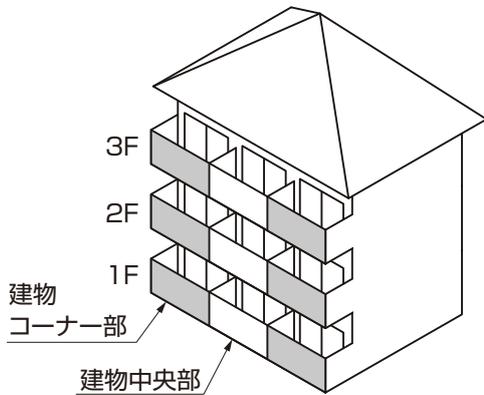


図3-10 戸建て設置施工制限

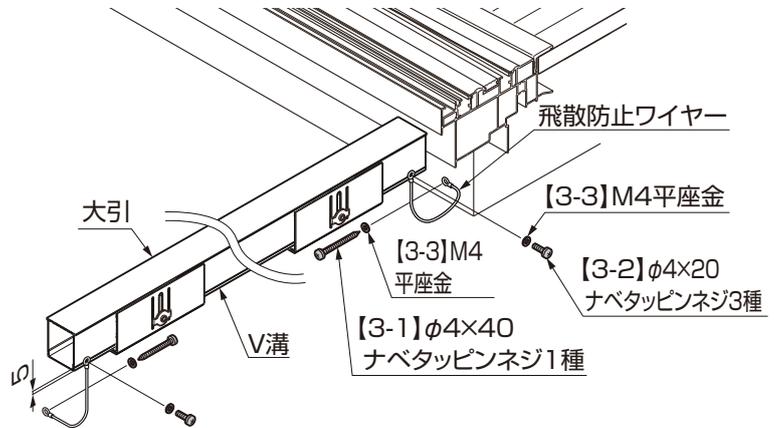


表3-2

階数	バルコニー位置	施工
1F~3F	建物中央部	○
	建物コーナー部	△(※2)

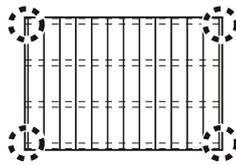


図3-11  
ワイヤー取付け箇所(縦張り)

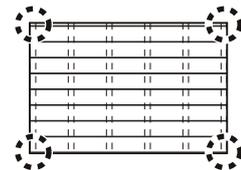
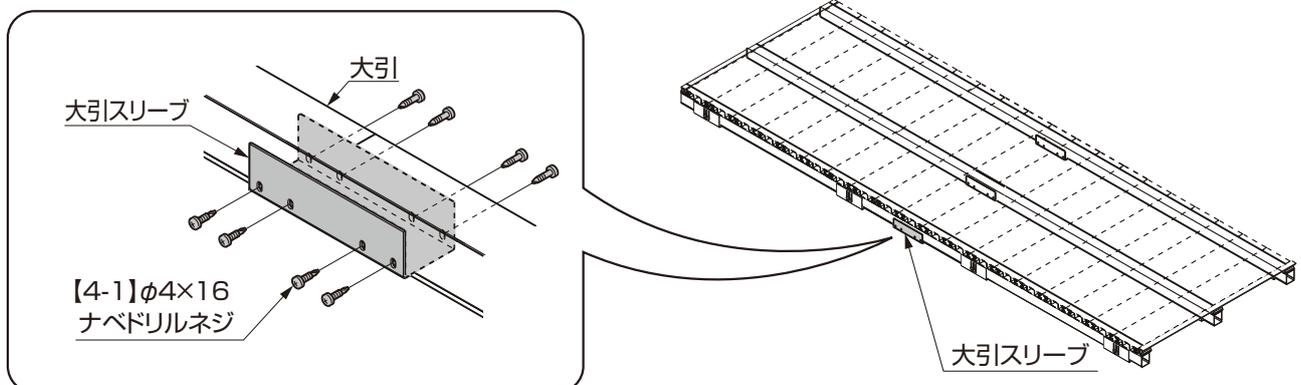


図3-12  
ワイヤー取付け箇所(横張り)

- ①飛散防止ワイヤーを大引のV溝に【3-2】、【3-3】で取付けてください。
- ②飛散防止ワイヤーを躯体に【3-1】、【3-3】で取付けてください。

- 飛散防止ワイヤーは両端の大引に取付けてください。(図3-11、3-12参照)
- 躯体側固定は、防水層をキズつけない高さを取付けてください。

#### 3-2 大引を連結する場合



- ①大引を大引スリーブと【4-1】で連結してください。
- その他の取付けは「3. 大引の取付け 3-1 大引の取付け」にしたがってください。

## 4. 床板の取付け

### 4-1 床板取付け前の確認事項

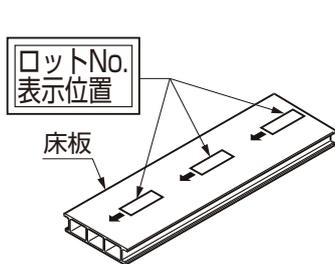


図4-1 加工方向について

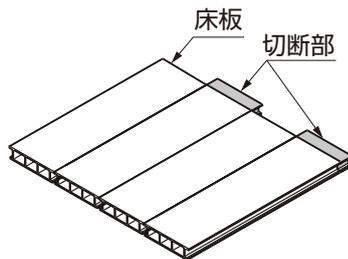


図4-2 床板長さの注意

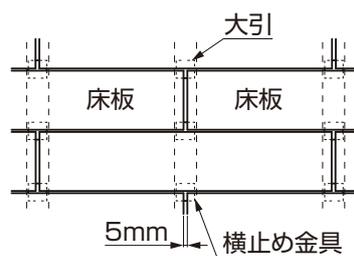
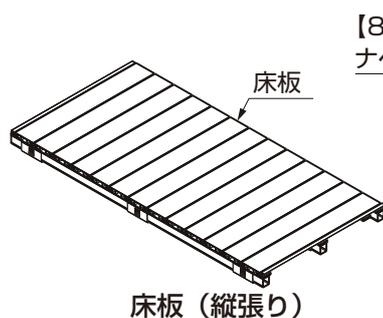


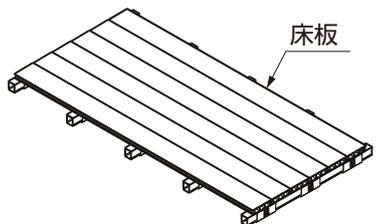
図4-3 床板を連結する場合の注意

- 床板の裏面にロットNo.と矢印が刻印されています。矢印の方向が加工方向を示していますので、矢印の方向をそろえてから施工してください。(図4-1参照)
- 床材は、温度変化による伸縮により、長さに若干のばらつきがあります。施工前に長さをそろえてから、固定してください。(図4-2参照)
- 床板を連結する場合は連結部に大引がくるように配置してください。(図4-3参照)
- 床板を連結する場合は床板を千鳥張りにして、床板連結部のすき間を5mmにしてください。(図4-3参照)

### 4-2 床板の取付け



床板（縦張り）



床板（横張り）

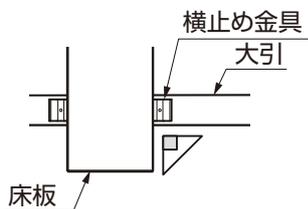


図4-8

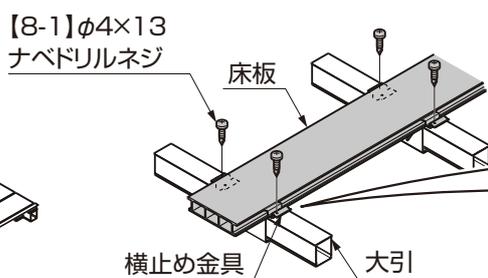


図4-4

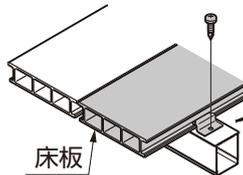


図4-5

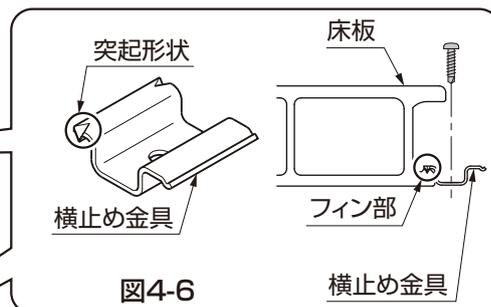


図4-6

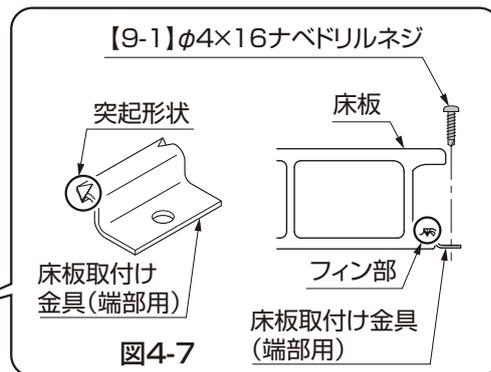


図4-7

①床板を大引に横止め金具と【8-1】で取付けてください。

- 大引と横止め金具が直角になるようにしてください。(図4-8参照)
- 横止め金具は突起形状のある側を床板のフィン部に取付けてください。(図4-6参照)

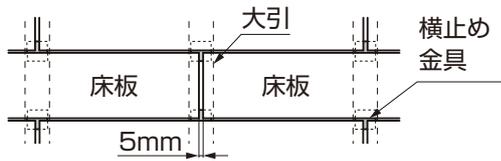
②床板をスライドさせながら、横止め金具に挿入してください。

③端部の床板を大引に床板取付け金具（端部用）と【9-1】で取付けてください。

## 4-3 設置方法

※日当たりの非常に良い場所に設置する場合は、床板端部が浮き上がることがあります。浮き上がりを防止するために(1)～(4)のいずれかの方法で設置してください。

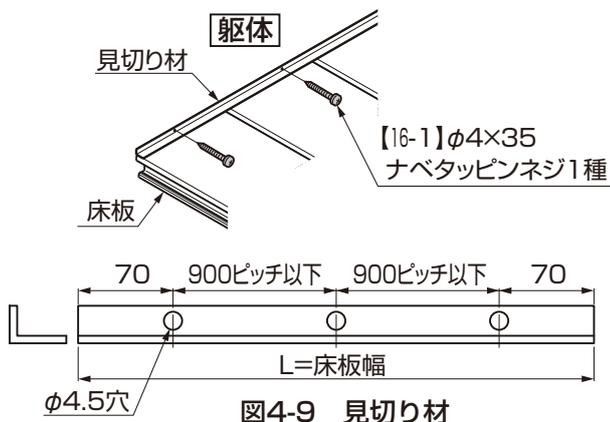
### (1) 床板長さを900mm以下にして連結する場合



- 床板の連結部に大引がくるように配置してください。
- 床板連結部のすき間を5mmにしてください。

①床板長さを900mm以下にして大引上で連結してください。

### (2) 床板長さを900mmより長くして見切り材を取付ける場合



- 床板長さを900mmより長くしたいときは、床板の端部に見切り材を取付けてください。

①見切り材を加工してください。(図4-9参照)  
②見切り材をバルコニー壁面に【16-1】で固定します。

- 縦張りの場合： $L=200 \times N$  (床板の枚数+55)  
※すき間調整材をバルコニーの左右に一列ずつ配置した場合の寸法です。
- 横張りの場合： $L=200 \times N$  (床板の枚数+35)  
※すき間調整材をバルコニーの前面に一列配置した場合の寸法です。

### (3) 床板長さを900mmより長くしたいが見切り材が取付けられない場合

- 床板を900mmより長くしたい場合で、サッシ枠があり見切り材を取付けられない場合は、大引のサッシ下枠の下になる個所に浮き上がり防止金具と浮き上がり防止ブロックを取付けてください。

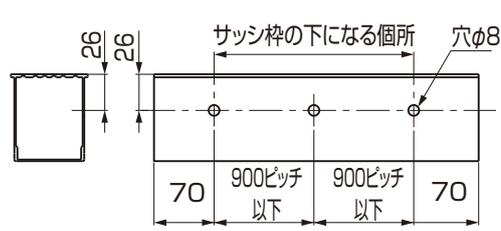


図4-10 大引65

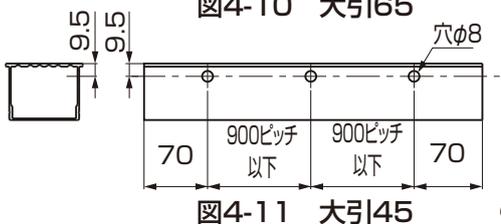


図4-11 大引45

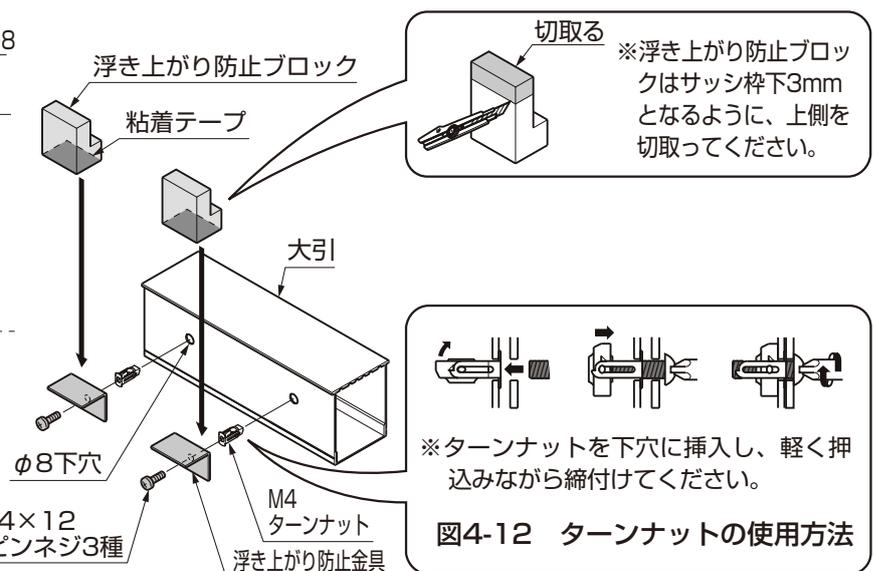


図4-12 ターンナットの使用方法

- ①大引を加工してください。(図4-10、4-11参照)
- ②浮き上がり防止金具を大引にM4ターンナットと【10-1】で固定してください。
- ③浮き上がり防止ブロックを浮き上がり防止金具に貼付けてください。



## 5. グレーチングの取付け

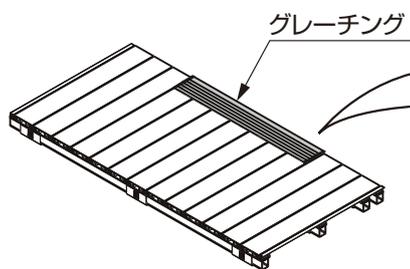


図5-1 床板縦張り

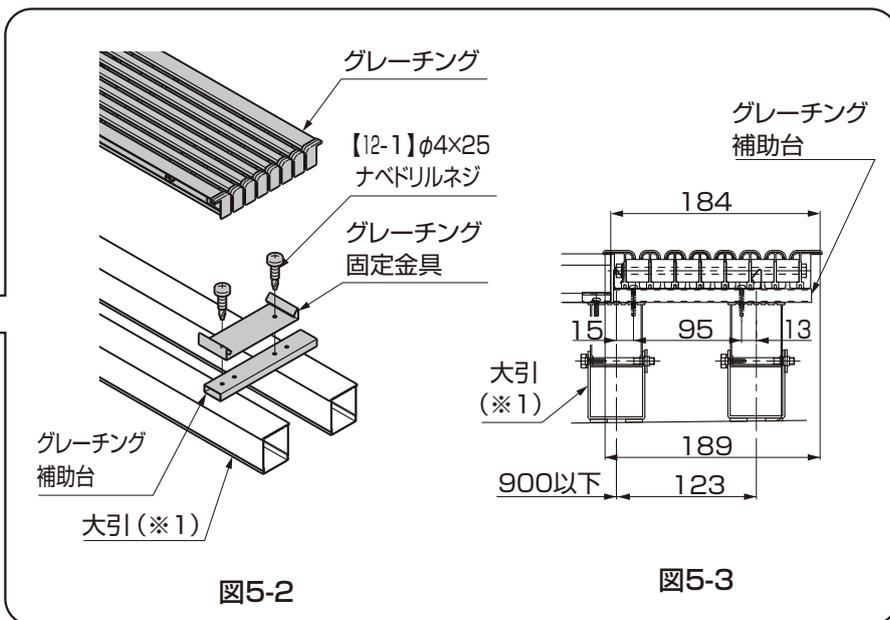


図5-2

図5-3

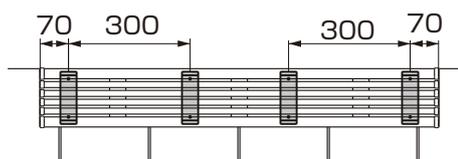


図5-4 グレーチング固定金具取付け位置  
(L=900の場合)

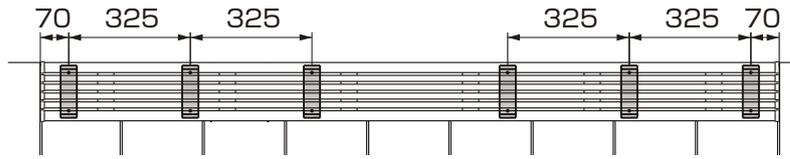
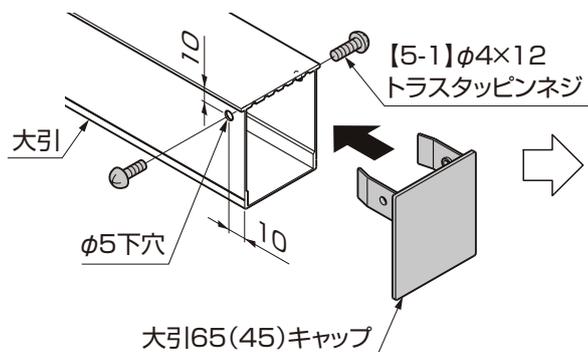


図5-5 グレーチング固定金具取付け位置  
(L=1800の場合)

①グレーチング固定金具とグレーチング補助台を大引に【I2-1】で取付けます。

●床板縦張りの場合は、グレーチング専用到大引を追加設置する必要があります。(※1)

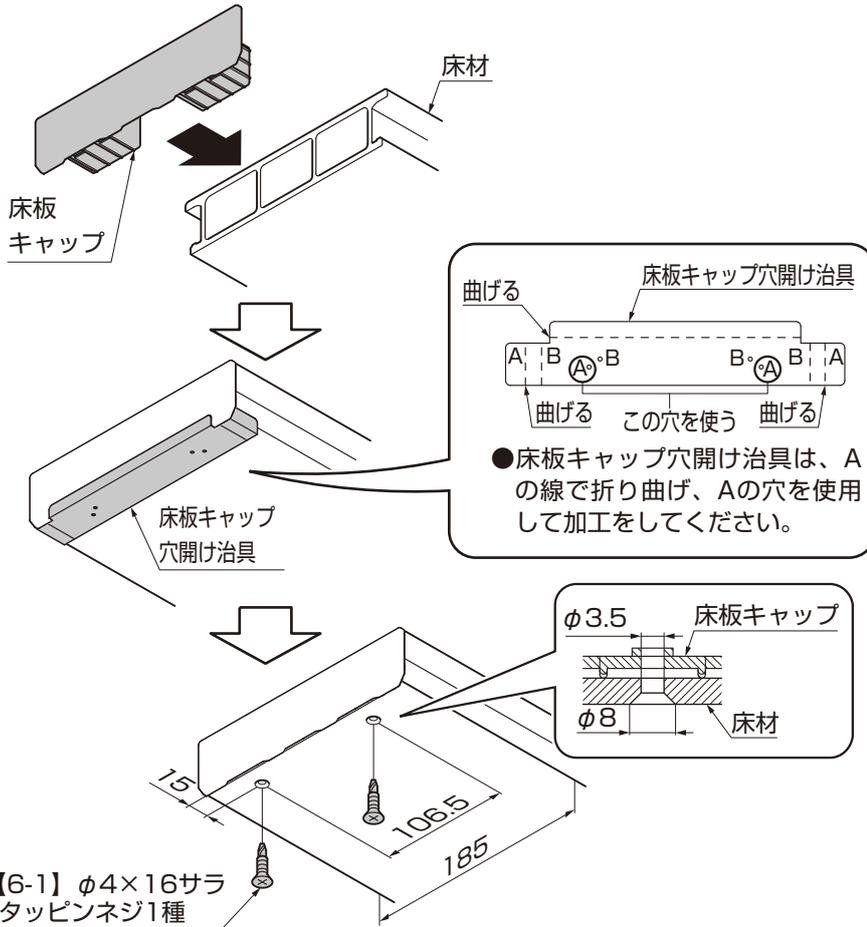
## 6. 大引キャップの取付け ※大引キャップを取付ける場合の作業です。



①大引キャップを大引に【5-1】で取付けてください。

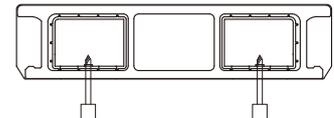
## 7. 床板キャップの取付け

※床板キャップを取付ける場合の作業です。



- ①床板キャップを床板にはめてください。
- ②床板キャップ穴開け治具をAの線で折り曲げてください。
- ③床板裏面に穴開け治具をあて、Aの穴でφ3.5の穴加工とφ8のサラ取り加工をしてください。

●床板キャップ内側まで、貫通でφ3.5の下穴をあけてください。

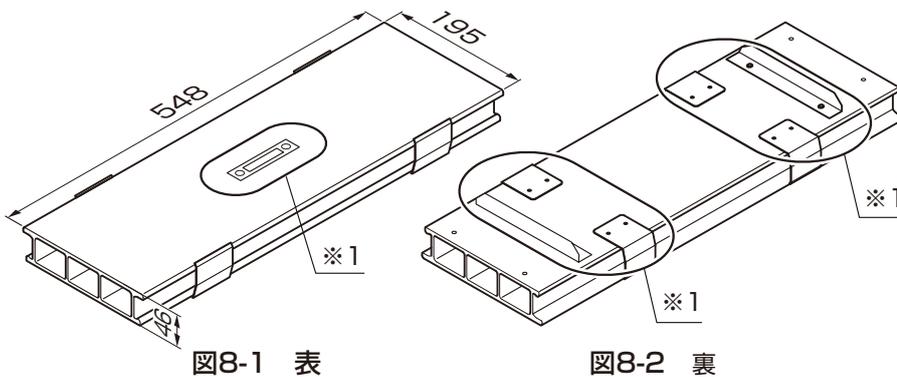


●加工の際は、床板キャップが動かないよう、手で押さえながら加工してください。

- ④床板キャップを床板に【6-1】で固定してください。

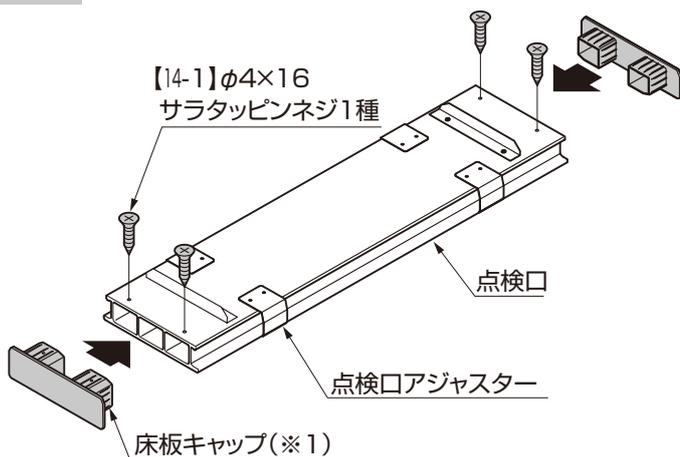
## 8. 点検口の取付け

### 8-1 施工時の重要確認事項



- 点検口本体にあらかじめ付いているネジは当て板を使って固定しています。一度ネジを外すと組付けができなくなります。図の位置のネジは外さないでください。(※1)
- 施工終了後は点検口の開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。

### 8-2 点検口の組立て



- ①床板キャップ(2個)を点検口両端に【14-1】で取付けてください。

- 残りの床板キャップは本体床板へ取付けます。(※1)
- ②点検口アジャスターの調整をしてください。

- 点検口アジャスターは、点検口本体と床板の間のがたつきをなくす部品です。
- 点検口アジャスターには、長穴調整機能が付いています。
- 点検口アジャスターを位置調整するとき、ネジをゆるめすぎないでください。当て板が外れてネジが組付けできなくなります。

## 8-3 点検口の取付け

### (1) 点検口の取付け (バルコニーの先端部に点検口を配置する場合)

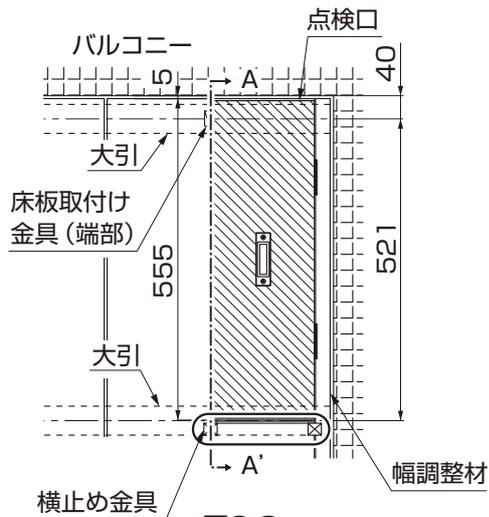


図8-3

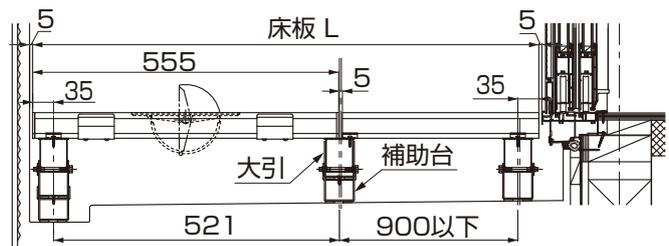
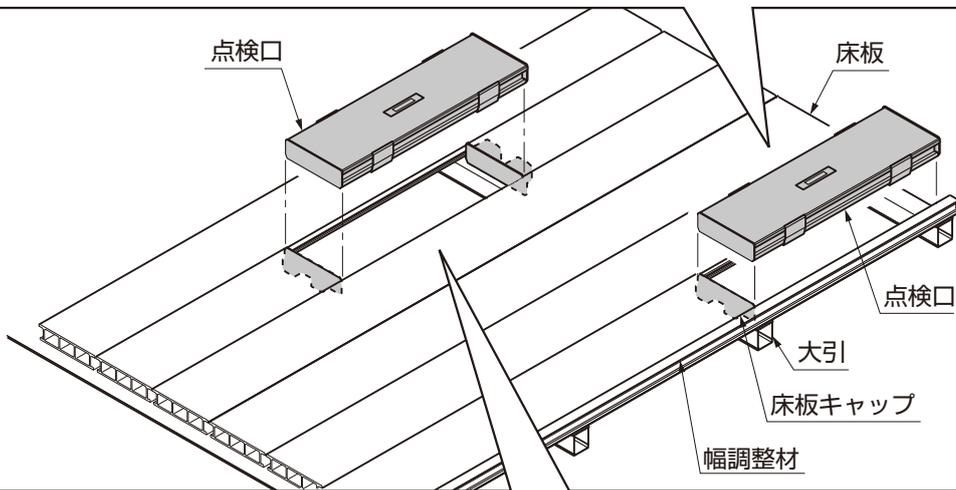


図8-4 A-A'断面図

- バルコニーの先端部に点検口を配置する場合、床板キャップの使用数は3個になります。(1個は不要となります)



### (2) 点検口の取付け (バルコニーの中央部に点検口を配置する場合)

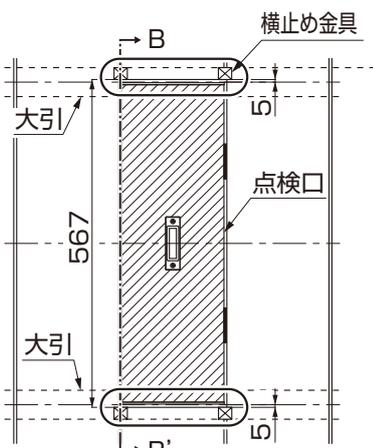


図8-5

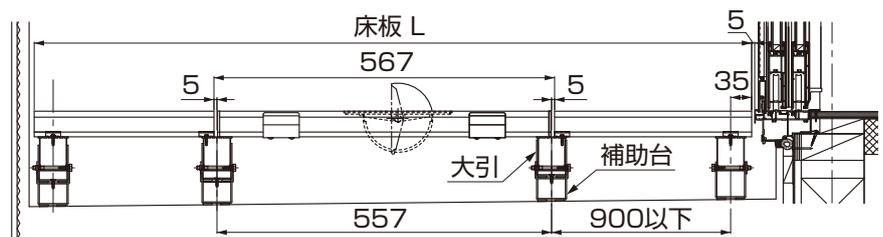
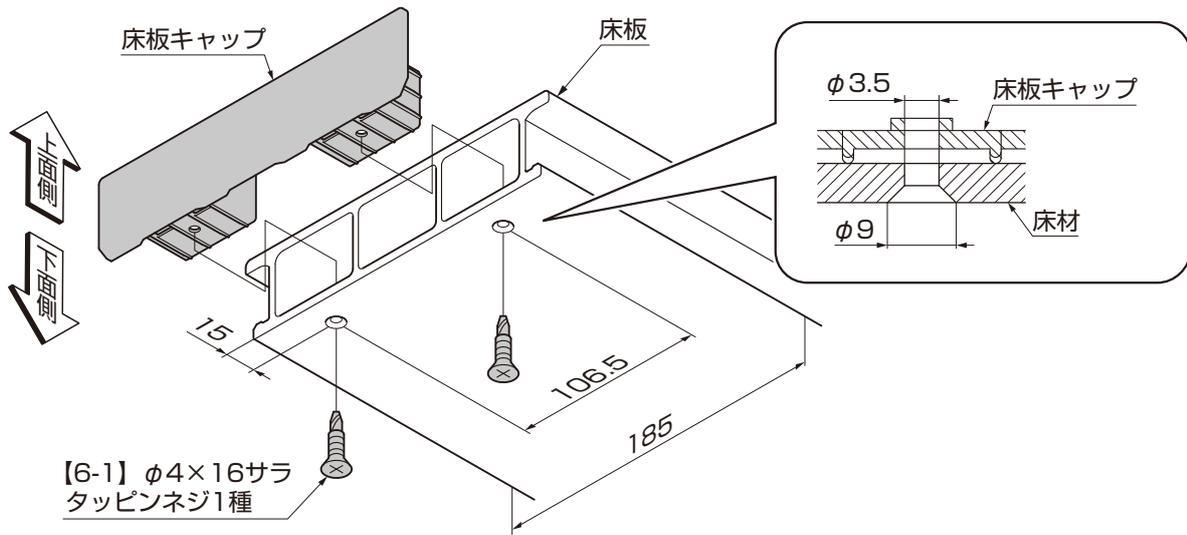


図8-6 B-B'断面図

- ①点検口設置の床板を567mmあけて切断してください。
- ②床板は点検口用に設置した大引の中心から5mmずらした長さで切断してください。(図8-6参照)

## 8-4 本体側床板キャップの取付け



- ①床板キャップをはめてください。
- ②床板裏面と床板キャップに、φ3.5とφ9のサラ取りの穴をあけてください。
- ③床板キャップを床板に【6-1】で固定してください。

## メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

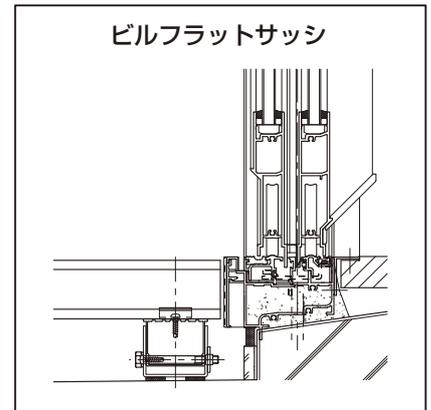
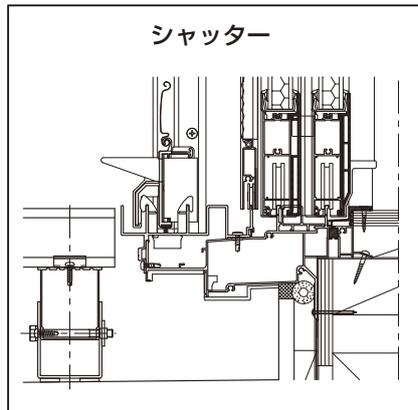
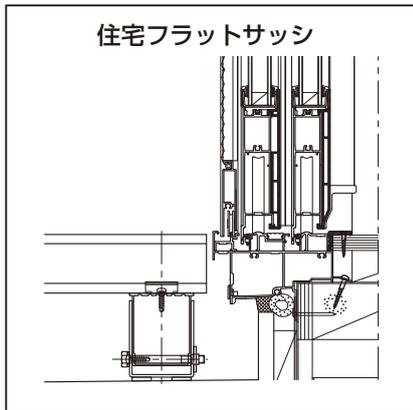
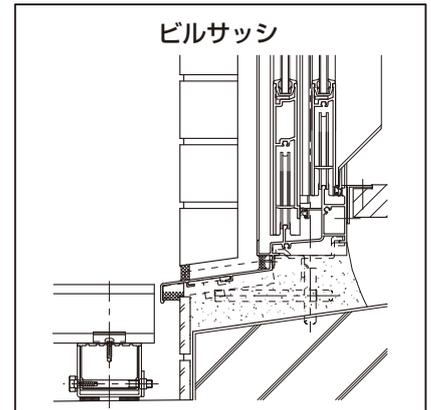
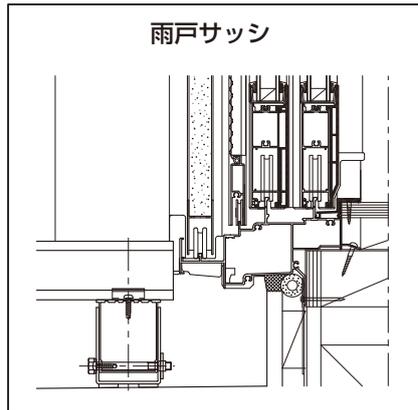
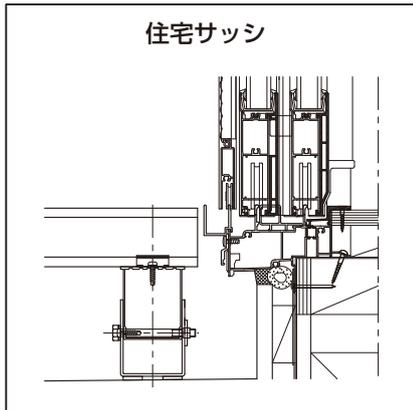
.....

.....



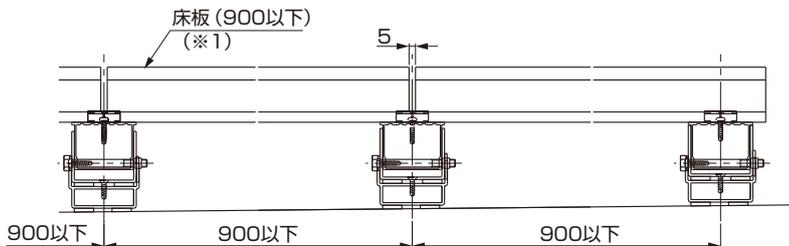
## 9. (つづき)

### 9-6 サッシ納まり図

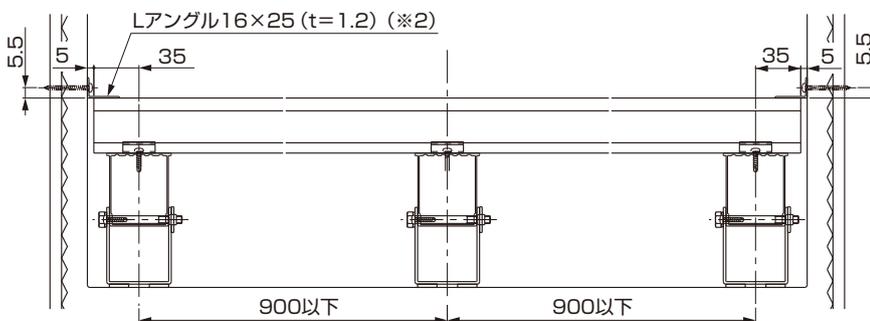


### 9-7 浮き上がり防止

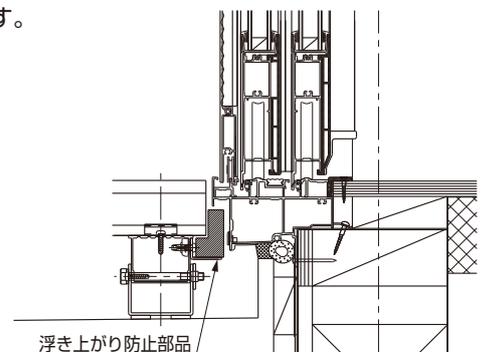
- きわめて日当たりがよい場所に設置する場合は床板端部が浮き上がることがあります。浮き上がりを防止する為に下記のように設置してください。



※1：床板の長さを900mm以下として、大引上で連続してください。



※2：壁に見切り材を取付けてください。



※3：Lアングルを取付けられない場合は、浮き上がり防止部品を取付けてください。



※4：エポキシ系樹脂接着剤でバルコニー床面に固定してください。

取説コード

**E365**

JZZ626092A  
201304A\_1039  
201605B\_1039